

電子情報工学専攻 ICTスペシャリスト育成コース（平成28年度9月入学生（社会人学生）適用）

分類	授 業 科 目	単 位		週 授 業 時 数				担 当 教 員
		必 修	選 択	1 年		2 年		
				10~3月	4~9月	10~3月	4~9月	
ICT スペ シャ リス ト 育 成 コ ー ス コ ア 科 目	プロジェクトマネジメント特論Ⅰ	2			4			山戸昭三 山戸昭三 松島 理（非常勤講師） 山戸昭三 藤田欣裕・樋上喜信・元岡 透（客員教授）・三好伸明（客員准教授） 小林正明（客員准教授）・桑嶋忠良（客員准教授）・成瀬芳之（客員准教授） 山戸昭三 山戸昭三 甲斐 博・中原啓貴 小野寿敏（非常勤講師） 野口一人 野口一人 清水明宏（非常勤講師）・岡本龍明（非常勤講師）・甲斐 博 黒田久泰・小林真也・山戸昭三・遠藤慶一 高橋 寛・樋上喜信 榊原勝己（非常勤講師） 岡本好弘 都築伸二 木下浩二 西岡 潔（非常勤講師）
	プロジェクトマネジメント特論Ⅱ	2			4			
	知的財産権特論	1		2				
	技術者倫理特論	1			2			
	ICT社会論	2		(集中)				
	ICT特別講義Ⅰ		1	(集中)				
	ICT特別講義Ⅱ		1			(集中)		
	ソフトウェアシステム特論	2			2			
	ソフトウェア設計・開発特論	2			(集中)			
	ネットワークシステム特論Ⅰ	2				4		
	ネットワークシステム特論Ⅱ		2		4			
	情報セキュリティ特論	2		(集中)				
	システム解析特論		2			4		
	計算機システム特論		2			2		
	デジタル通信特論		2	(集中)				
デジタル信号処理特論		2			2			
情報通信システム特論		2				2		
インテリジェントシステム特論		2				4		
M O T 特 論	1			(集中)				
実 習 演 習 科 目	発展的ICT総合科目Ⅰ	2			4			教育・学生支援機構教員・黒田久泰 遠藤慶一・吉井 誠（非常勤講師） 小林真也・遠藤慶一 学年担任教員 全教員 全教員 全教員 全教員 全教員 遠藤慶一・小林真也・山戸昭三・黒田久泰 黒田久泰・山戸昭三 黒田久泰・山戸昭三 小林真也・黒田久泰・遠藤慶一 小林真也・黒田久泰・遠藤慶一
	発展的ICT総合科目Ⅱ	2				4		
	発展的ICT総合科目Ⅲ	2				4		
	ICTシステム開発実習Ⅰ		1	△1			△1	
	ICTシステム開発実習Ⅱ		1			△2	△2	
	ICTシステム開発実習Ⅲ		1			△2	△2	
	ICTシステム開発実習Ⅳ		1			△2	△2	
	ICTシステムデザインⅠ	1				6		
	ICTシステムデザインⅡ	1			6			
	ICTシステムデザインⅢ		1				6	
ビジネスアプリケーション開発実習Ⅰ		2		(集中)				
ビジネスアプリケーション開発実習Ⅱ		2		(集中)				
共 通 科 目	応用数学特論Ⅰ		2		2			津田光一・伊藤 宏・吉川周二 井上友喜・安藤和典・宗野恵樹 (某) (某) Toshiro Tanaka・ORR Thomas（非常勤講師）
	応用数学特論Ⅱ		2			2		
	電子情報工学特別講義Ⅰ		1				(集中)	
	電子情報工学特別講義Ⅱ		1		(集中)			
	Technical Writing in English		2		(集中)			

社会人学生とは、ICTスペシャリスト育成コースの社会人特別選抜で合格し、入学した学生を言う。

ICTスペシャリスト育成コースの修了要件（社会人学生適用）

○必修 25単位

○選択 9単位以上

ICTシステム開発実習Ⅰは1年前期または2年前期で履修することができる。(△1)

ICTシステム開発実習Ⅱ・Ⅲ・Ⅳは1年後期または2年後期で履修することができる。(△2)

合計 34単位以上を修得し、活動報告書（特定の課題についての研究の成果）あるいは学位論文の審査および最終試験に合格すること。

備 考

1. 修了必要単位数として、電気電子工学コア科目、情報工学コア科目の授業科目8単位までを修得することができる。
2. 社会人学生は、愛媛大学大学院理工学研究科規則第8条2項に定める「教育方法の特例による履修」が可能である。
3. デジタル信号処理特論、情報通信システム特論は電気電子工学コア科目として開講されている科目と同一である。
4. ソフトウェアシステム特論、計算機システム特論は情報工学コア科目として開講されている科目と同一である。
5. 「ICT特別講義Ⅰ」、「ICT特別講義Ⅱ」は隔年開講である。
6. 「電子情報工学特別講義Ⅰ」、「電子情報工学特別講義Ⅱ」は隔年開講である。
7. 「デジタル通信特論」、「インテリジェントシステム特論」は隔年開講である。